

常滑市版 徒歩帰宅支援マップ

Walk-home Assistance Map

このマップは、南海トラフ地震等の大地震が発生した場合、又は東海地震の警戒宣言が発せられた場合などで、公共交通機関が停止した場合に、徒歩で帰宅する方を支援するために作成したものです。



警戒宣言が発令されると...

東海地震の警戒宣言発令時には、この地域では大規模地震に備え、電車・バス・タクシー・航空機などの運行が中止されます。

警戒宣言発令時や地震発生後などに徒歩で帰宅する方は、このマップを参考に、道路や周辺建物の安全などに各自で十分に注意してください。

(記載する道路の安全を保障するものではありません。)

むやみに移動(帰宅)を開始しない

公共交通機関が運行を停止している中で、多くの帰宅困難者が徒歩等により一斉帰宅を開始した場合、緊急車両の通行の妨げになるなど、応急活動に混乱が生じる可能性があります。

企業等においては、平常時から施設の安全確保や備蓄品の充実に努め、できる限り、従業員等を施設内に待機させていただくことが重要になります。

特に空港島(中部国際空港)においては、公共交通機関の運行停止や有料道路の閉鎖等により移動が難しくなることが想定されますので、各企業等は施設内待機を基本に考えてください。

災害時の安否確認方法

大規模災害発生時には、被災地域内における電話は大変つながりにくくなります。被災地域における電話による連絡は控え、災害用伝言ダイヤル(171)やスマートフォンなどの災害用伝言板を活用しましょう。

災害用伝言ダイヤル(171)の使用法

伝言を録音する

「171」

↓

「1」

□□□□□□□□□□

伝言を録音

伝言を聞く

「171」

↓

「2」

□□□□□□□□□□

伝言を再生

災害用伝言板(携帯電話・スマートフォン)の使用法

各電話会社のトップメニューから「災害用伝言板」を開く

伝言の登録方法
「登録」を選択し、伝言を入力

伝言の確認方法
「確認」を選択し、被災地の人の携帯電話番号を入力

J-anpi~安否情報まとめて検索~

「J-anpi」は、「電話番号」または「氏名」を入力することで、各社の災害用伝言板および報道機関などが提供する安否情報を対象に一括で検索し、結果をまとめて確認することができます。

<http://anpi.jp/> J-anpi 検索



- ### 凡 例
- 市 町 村 界
 - 私 鉄
 - 徒歩帰宅経路(基幹的ルート)
(Walk-home Assistance Road)
 - 徒歩帰宅経路(接続ルート)
(Walk-home Assistance Road)
 - 常滑IC
 - 有料道路
 - 常滑駅西
Tokoname Sta. W.
 - 主要避難所
 - 津波注意(津波浸水想定域の施設・帰宅経路)
 - 津波避難ビル
 - 広域避難場所
- ### 〈徒歩帰宅支援ステーション〉
- コンビニエンスストア
(Convenience Store)
 - ガソリンスタンド
(Gas Station)
 - 飲食店・新聞販売店・車販売店等
(Other)
 - 消 防 署
(Fire Station)
 - 警 察 署 交 番
(Police Office)
 - 病 院
(Hospital)
 - 学 校
(School)
 - 郵 便 局
(Post Office)

「徒歩帰宅支援ステーション」
として登録するコンビニエンスストア、ガソリンスタンド、飲食店・新聞販売店等の各店舗では、トイレ、水道水、情報など徒歩帰宅する上での支援が可能な範囲で受けられます。
(営業状況等によって支援が受けられない場合があります。)

この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平 24 部使 第 12 号)

不許複製 © 2019 株式会社 常滑市 調製

平成29年3月作成